

テレビの影響を考える



テレビの影響ってどんなことがあるの？

赤ちゃんにとって生後1年間は、音を聞き分ける「聴く準備」の時期です。次の1年間は「話す準備」の時期です。この時に、パパやママ、周りの人の声を聞いたり口の動き方を観察したりしています。「子どもの脳には、言葉を覚える時期」があり、この時期に覚えることが一番無理なく自然に覚えられます。その時期は子どもによって多少の違いはありますが、後から取り返すのはなかなか大変です。子どもへの語りかけをせず、子どもからの働きかけにも応えないと、赤ちゃんの心の発達に影響が出ると言われています。



テレビや携帯、タブレットなどの視聴は、時間を決めて

このような理由で、子どものいる部屋では、TVをつける時間をできるだけ少なくした方がことばの発達には良いとされています。

1対1のコミュニケーションが大切



まずは、少しの時間テレビを消して1対1で子どもと触れ合う時間を増やしてみてください。赤ちゃんの表情が豊かになります。心が育まれる「刷り込みの時期」には生身の人間が話しかけ、触れ合うことで、赤ちゃんパパやママとの信頼感が育まれ、声をかけられるとそれに応えようと赤ちゃんも笑顔になったり、声を出したりします。これが1対1のコミュニケーションが大切な理由であり、ことばを覚える第一歩になります。

おいしいね

